

令和6年度使用教科用図書採択に係る会議録  
(令和5年度 第4回下呂市教育委員会にて)

- 1 期 日 令和5年7月28日(金) 午後3時10分～午後4時10分
- 2 会 場 星雲会館 東雲の間
- 3 出席者 教 育 長 中 村 好 一  
委 員 細 江 洋 一 郎  
委 員 河 尻 明 子  
委 員 小 口 晃 生  
委 員 田 中 由 美  
委 員 三 木 朋 哉
- 4 欠 席 者 なし
- 5 委員の他出席者 教育委員会事務局長 林 雅 人  
教育総務課長 熊 崎 賀 代 子  
学校教育課長 黒 木 和 実  
地域振興課長 渡 邊 展  
地域振興課課長補佐 古 谷 卓 也

5 議事

下呂市立小・中学校で令和6年度において使用する教科用図書の採択について

教育長

日程6 議第13号、下呂市立小・中学校で令和6年度において使用する教科用図書の採択について、事務局の説明を求めます。

(学校教育課長 朗読説明)

(学校教育課長 提案理由や選定方法などについて説明後、国語、書写、社会、地図帳、算数、理科の教科書について説明)

教育長

下呂市の小中学生の弱さから考えたところで 視点は主体的、対話的で深い学びにつながるか、また自分の生活や身近な地域にも目を向けられるかという二つに視点を置いて考えられたものですが、それも含め四つの教科についてご意見をお願いします。

三木委員

社会科の教科書と地図帳の教科書とでは違う会社の教科書が採択されているが、素人目からすると、同じ会社の方が教科書と地図帳が連動するメリットがあるように思うが、地図帳は帝国書院が優れていると判断されたということで、強いて言えば連動

するメリットの考えはどのようなのかお聞きしたい。

学校教育課長

東京書籍は地名がよく載っているが、地形というところで、地理的な環境という点では帝国書院の方が断然見やすいと思いました。帝国書院が優れている理由は、地形だけでなく資料が多く載っており、資料集としても使える。社会科は資料集が副教材として別で購入している学校が多いので、資料の部分はなくとも問題ないことから、地形という部分で判断すると帝国書院は優れていると判断されました。

三木委員

教科書と地図帳がリンクして調べる利点はないということですか。

学校教育課長

利点としてあるとは思いますが、今はインターネットで調べることができるので、地図帳に限らないということでリンクしていなくても良いと考えます。

三木委員

もう一点です。学習指導要領を基本にしながら下呂市では、2の自分ごととしてつなげることに重きをおいたときに、地元とか岐阜県など馴染みのあるような記事が取り上げられていることがポイントに挙げられるわけですが、岐阜県用では各自治体の産業で繋がるような記事が載っていることが大きなウエイトになってしまうと、他の教科書とその記事だけで差がついてしまうようなことがありますのかと思って、それを加味しながら大きなポイントとして採用されるのはわかるが、教科書会社にとって採用されるヒントになってしまうのかという感想です。

田中委員

理科の教科書を見て、6年生の教科書の文字がこんなに大きい必要があるのかと思いました。

学校教育課長

東京書籍は大きめになっています。

教育長

軽量化は東京書籍でない方がいいが、内容的に考えると東京書籍ということですか。

学校教育課長

知識を得るということで、活動や実験や観察を中心にしながら自分で気づいて考えていくということで、文字が少ないということが言えるのではないかということです。

河尻委員

色んな教科に言えることですが、QRコードが多いですが、興味があるところに入っていけるような内容になっていると思います。授業中にすべてのQRコードは読まないで、休み時間等に自分で調べることができるようになってきていることから、さらに学んでいけるように前回より整った環境になったと思いました。

(学校教育課長 音楽、図画工作、家庭、保健の教科書について説明)

教育長

今の4教科についてご意見をお願いします。  
(意見なし)

(学校教育課長 生活、外国語、道徳の教科書について説明)

教育長

先ほどの4教科についても、今の3教科に含めまして、ご意見をお願いします。

小口委員

最近テレビでおかしな事件で子どもたちが変わってしまったと思うことがある。タブレットやパソコンで人との触れ合いが少なくなり、相手のことを思うことが弱まっていると思うことがある。えんぴつの持ち方についても変わっている。基礎基本は大切にしたい。人のことを考える。飛騨地域で大切にしていることは、主体的で対話的で深い学びの視点というところで、今の教科書は一人で学べるのできるのとて  
もいいが、先述のようなことが考えられるが、友達の意見を聞いたり、考えをまとめるということについては、国語の教科書の「どうやって学んでいくのかな」というところで、みんながよく考えたとあるので、大切にしてもらえると感じた。友達と学んでいくことは先生方に工夫してやっていただくことが大切と思いました。

細江委員

昨年の飛騨の教科書採択会議で、中学校の技術家庭の内容が親世代と変わってきているが、音楽の教科書は昔と内容的に殆ど変わっていない。音楽は先ずは歌を歌えるようにすることが大切と思う。発声に関してと、譜面を読む記述が載っていないので、今後そういった教科書が出ることを期待したい。

河尻委員

P8の下呂市小中学生の良さと課題で、下呂市の小中学生の弱さで、明確な根拠で自分の考えをまとめること、得た知識を活用し、教科の見方・考え方を生かして説明することとあるが、昨年の学校訪問の時に初めに自分で考えてノートに書いて、あとで先生に説明するというのを複数の学校で拝見したが、自分の考えを頭でまとめたり、考えたりということを友達に説明することで、より考えることを頭で整理させていると思っていたが、今、弱いとされていることを教科書で同じことをしていると、今までの弱いところが進歩がないように思ったが。今までを生かして説明することを新しい教科書ではできるのか。

学校教育課長

活動としてはグループで話し合うことはこれまでと同じだが、子供たちが何を求めて話しているかということが今までとは違う。今の教科書には学び方のページが最初にある。一人一人が課題意識をしっかりと持って、こういう問題を解決したいからそれぞれの学びや追究や調べ学習をしっかりとやっていこうということを大事にしている証拠で、一人一人が課題意識、問題意識をもてることをこの教科書は大事にしている

と思います。

小口委員

P9 下呂市のよさと課題で、弱さの地域や社会やよくするために何をすべきか考えることができるということで、小学生と中学生はちがうと思う。小学生は地域のことを知る子になって欲しい。その上で中学生として地域のことを考える。小中学生一緒に考えるべきではないと思う。

学校教育課長

小中学生の実態は違う。今後様々な活動を通して、気づきや考えは育っていくと思う。中学生で今ボランティア活動をしている子も多くおり、中学生をみて小学生が育っていくと思うのでこれからに期待ができると思っています。

教育長

4月から8月5日までで小学生は10名、中学生は235名ボランティアに参加している。それ以外にも、夏休みに今、萩原で開催の寺子屋等で、小中高校生に勉強を教えるなど、地域参加や社会を良くしようとする事が行われており、資料の数字の分析はしていく必要がある。気持ちのある子が地域参加することにより、活動が反映される教科書になるのではないかと。弱さとしても出ているが、良さとしても大切にしていきたい。

教育長

他にご意見ご質問はございませんか。

(特に質疑等なし)

教育長

それでは議題13号につきまして、承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

教育長

全員挙手ということで、議題は終了いたします。